

【皇位継承】安倍首相「安定的な継承は極めて重要。男系継承の重み踏まえ検討したい」

安倍晋三首相は4日の衆院予算委員会で、皇位継承について「男系継承が古来例外なく維持されてきたことの重みなどを踏まえつつ、安定的な皇位継承の維持について引き続き検討していきたい」と述べた。皇室典範の改正では、男系男子による継承を維持した上で、皇族の減少への対応を検討していくべきだとの考えを示した。

安倍首相は「安定的な皇位継承を維持することは、国家の基本に関わる極めて重要な問題だ」と強調。その上で、「慎重かつ丁寧に対応する必要がある」と説明した。維新の党の石関貴史氏の質問に答えた。

政府は平成17年に当時の小泉純一郎首相の私的諮問機関「皇室典範に関する有識者会議」が、象徴天皇制を維持するため女性・女系皇族にも皇位継承権を認めるとの内容の報告書をまとめた。小泉氏の後任となった安倍首相は、18年に秋篠宮家に悠仁さまが誕生されたことを機に、女系天皇を容認する有識者会議の報告書を白紙に戻している。

安定的な皇位継承に関しては、旧皇族の皇籍復帰を求める案がある。皇室の方々のご負担を減らすため、女性皇族が結婚後も皇室活動を行えるようにする案も出ている。